

知っておきたい

雲仙市のしごと



“つながり”で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち



長崎県 雲仙市

はじめに

雲仙市では、市が1年間にどれだけの予算を使って、どのような事業を実施しようとしているのかを市民のみなさんにお伝えするため、令和4年度予算説明書「知っておきたい雲仙市のしごと」を作成しました。

本書では、各会計別の予算の概要をはじめ、雲仙市総合計画の5つの基本方針に基づく今年度の主要事業などの内容について、写真やイラストを多く使用することにより、できるかぎり読みやすく、分かりやすい内容に努めて作成しています。

本書により、市民のみなさんが雲仙市の予算を身近に感じていただき、よりよいまちづくりのための議論の一助として有効にご活用いただければ幸いです。

財務部 財政課

雲仙市総合計画

将来像

“つながり”で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち

基本方針

- ① 暮らしと安心
- ② 産業と交流
- ③ 社会基盤と環境
- ④ 人財と郷土
- ⑤ 協働と戦略

表紙および裏表紙には、令和3年度「雲仙ふるさと景観百選」フォトコンテスト受賞作品を掲載しています。

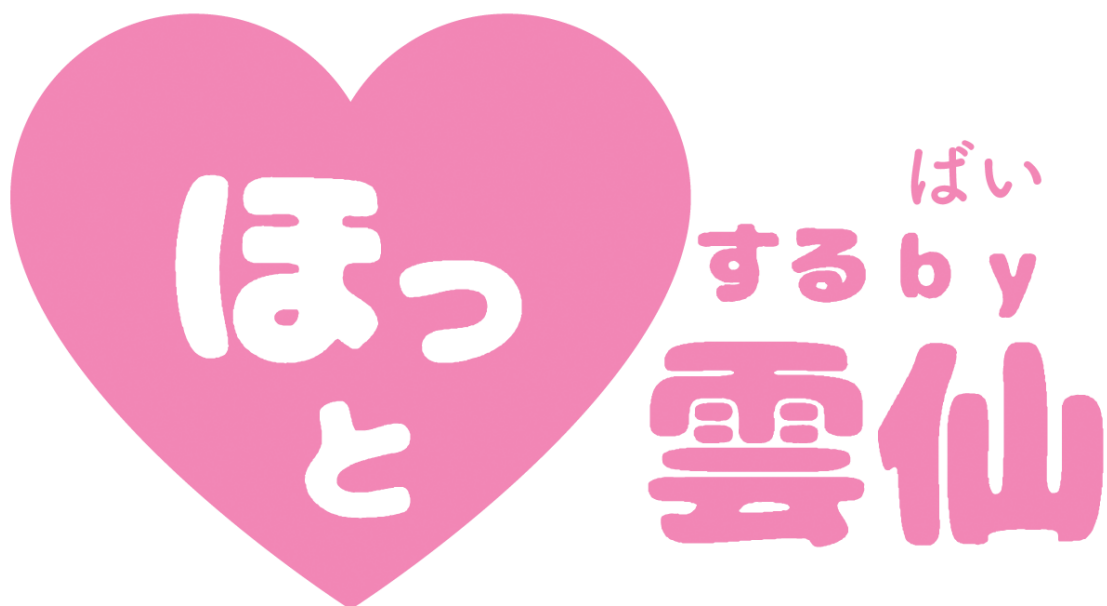
表紙：「古くて新しい稲刈り」／国見町

裏表紙：「冬景色」／千々石町

知っておきたい雲仙市のしごと もくじ

1	令和4年度雲仙市当初予算の概要	3
	雲仙市の予算をしてみよう	4
	一般会計の歳入	6
	一般会計の歳出	8
	市民1人あたりに使われるお金	10
	雲仙市の借金と貯金	11
2	令和4年度主要事業	12
	①暮らしと安心 の事業	13
	②産業と交流 の事業	19
	③社会基盤と環境 の事業	22
	④人財と郷土 の事業	33
	⑤協働と戦略 の事業	36
3	ゼロ予算事業	37
4	資料編	40
	(1) 雲仙市の通知表(県内13市財政状況比較表)	41
	(2) 雲仙市中期財政計画(第4期)	42
	(3) 「ふるさと納税寄附金」の使い道	44

1 令和4年度雲仙市当初予算の概要



雲仙市の予算を見てみよう

令和4年度の雲仙市当初予算の全会計の合計は、

411億8,624万円 です。

雲仙市の会計は、一般会計、特別会計、企業会計の3種類の会計があります。

お財布に例えると、使いみちや収入源の違う3種類のお財布があり、決められたルールにしたがってお金の出し入れをしています。



一般会計

基礎的な行政サービスを行うための会計

299億
4,192万円

一般会計とは、教育・福祉・まちづくりなど、市の基礎的な行政サービスを行う会計です。

市民税や固定資産税など、市民のみなさんが納める市税は、主にこの一般会計の各種事業に使われています。

特別会計

特定の事業を行うための会計

77億
6,906万円

特別会計とは、法律の定めなどにより、特定の事業を行うためのお金の管理を一般会計と区別している会計です。

雲仙市には、5つの特別会計があります。

国民健康保険特別会計・・・68億1,027万円 後期高齢者医療特別会計・・・5億8,285万円

国民宿舎事業特別会計・・・・・・4,349万円 温泉浴場事業特別会計・・・・・・1,069万円

企業誘致用地整備事業特別会計・・・3億2,176万円

企業会計

事業の収益で運営している会計

34億
7,526万円

企業会計とは、一般会計や特別会計と異なり、事業を行うことによって得られた料金などの収益で運営している会計です。

水道事業会計・・・・・・19億4,403万円

下水道事業会計・・・・・・15億3,123万円

(※両事業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額です。)

雲仙市の特別会計・企業会計

国民健康保険特別会計

自営業の人、農家の人、会社を退職した人およびそれらの人に扶養されている人などが病院などにかかった場合の医療費について、本人負担額の残りの費用の支払いを行う会計です。



保険証

後期高齢者医療特別会計

主に75歳以上の人がかかった場合の医療費について、本人負担額の残りの費用の支払いを行う会計です。



国民宿舎事業特別会計

国民宿舎「望洋荘」の管理を行うための会計です。



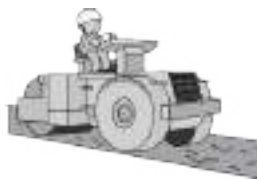
温泉浴場事業特別会計

市営共同浴場「浜の湯」の管理を行うための会計です。



企業誘致用地整備事業特別会計

企業誘致のための用地として、土地の購入や水道などのインフラ整備を行うための会計です。



水道事業会計(企業会計)

安定した飲料水の供給のために、配水管の工事や設備の維持管理を行うための会計です。



下水道事業会計(企業会計)

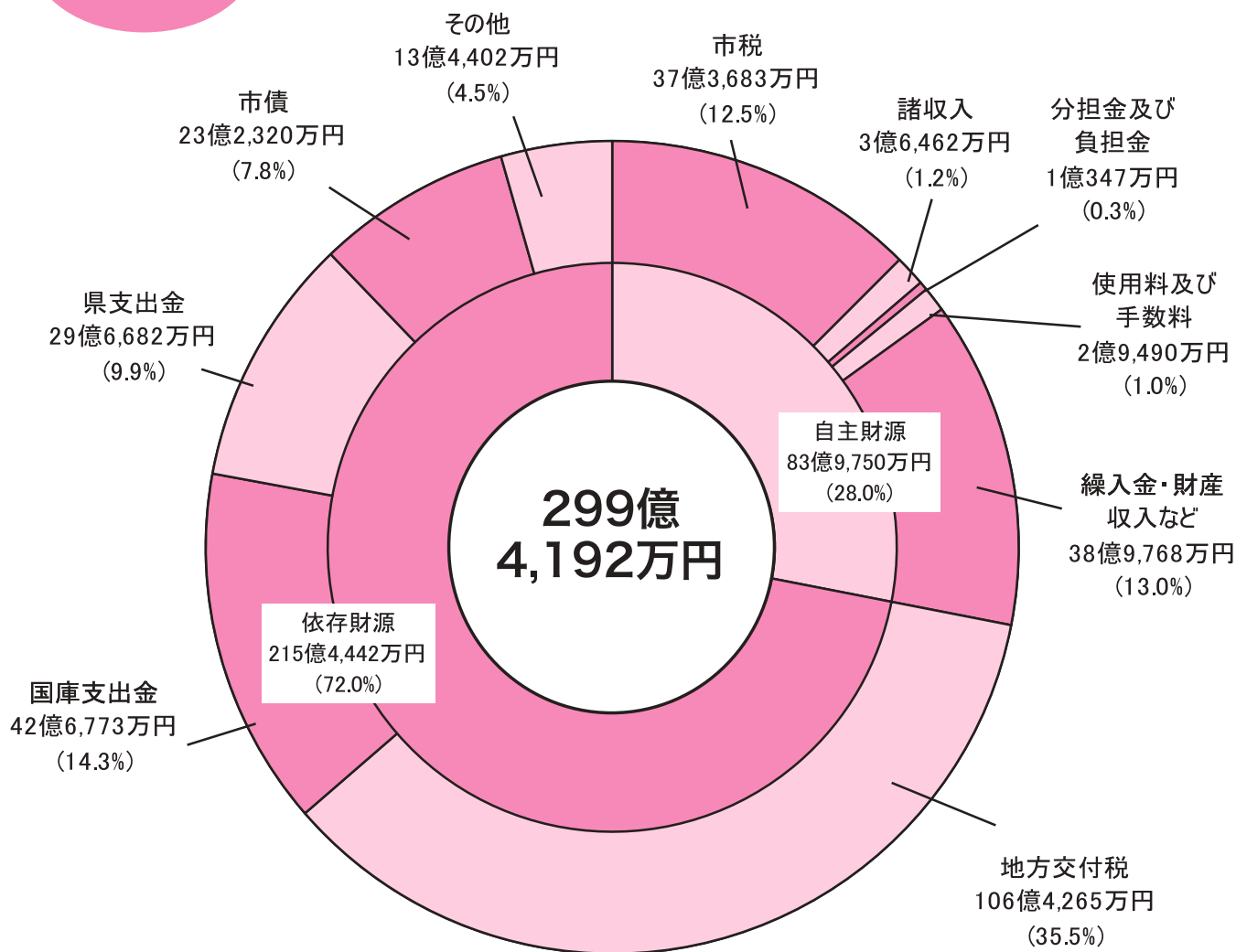
下水道施設の整備や施設の維持管理を行うための会計です。

- ・ 公共下水道
- ・ 特定環境保全公共下水道
- ・ 農業集落排水処理
- ・ 小規模集合排水処理
- ・ 特定地域生活排水処理



歳入

一般会計



Q. 予算とは？

A. あらかじめ計算した1年間の収入・支出の予定額のことです。

予算には、1年間のお金の使い方を決める「当初（通常）予算」のほか、当初予算では予測できなかった事などを行うために予算の追加や変更を行う「補正予算」があります。

知っておきたい！



歳入（収入）・歳出（支出）については、「一会計年度の収入のなかでその会計年度の支出をまかなう」と法律で定められていますので、会計年度のなかで計画的に運営する必要があります。

※一会計年度・・・4月1日から翌年3月31日までの期間

【自主財源】 — 市が独自に収入できるお金 —

- 市税……………個人や会社の所得に応じて支払う市民税、土地や建物を所有する人が支払う固定資産税など、市民のみなさんが市に支払う税金
- 諸収入……………貸付金元利収入や宝くじ配分金など他の歳入科目に属さないお金
- 分担金及び負担金……市が行う事業などにより、特に利益を受ける人から徴収するお金（老人ホーム入所者や保育所の保護者負担金など）
- 使用料及び手数料……市のホール・体育館や市営住宅などの公共施設の使用料、住民票の交付手数料など
- 繰入金・財産収入……各種基金（貯金）の取り崩しなどにより繰り入れるお金や市が所有する財産（土地など）を貸し付けたり、売り払うことなどにより得るお金

【依存財源】 — 国や県からもらうお金や銀行などから借りるお金 —

- 地方交付税……………国民が一定水準の行政サービスを公平に受けられるよう、所得税や酒税などの国税の一部をもとに、市の人口規模などに応じて国から交付されるお金
- 国庫支出金……………国が認めた特定の事業などに対して国から交付されるお金
- 県支出金……………県が認めた特定の事業などに対して県から交付されるお金
- 市債……………道路整備などの建設事業を行うために、国や銀行などから借り入れるお金

Q. 予算はどのようにして決まるの？

A. ①～⑦の順序に従って事務が行われ、予算が成立します。

①予算編成方針の作成（10月下旬頃）→②各部局が要求書を提出（11月中旬頃）→③査定（11月下旬～1月）→④予算案の作成（2月上旬頃）→⑤議会への提出（2月下旬頃）→⑥議会の議決（3月下旬頃）→⑦成立

知っておきたい！

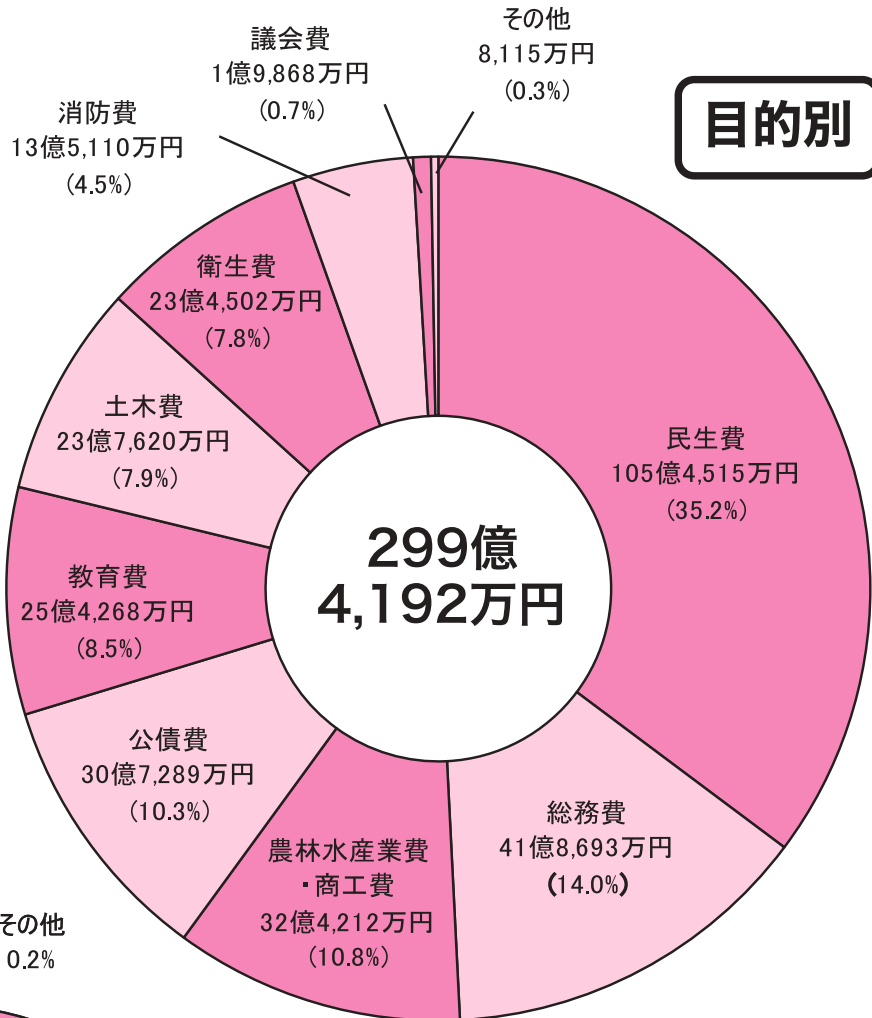


①まず、次の1年間に何をするか、基本的な考え方を財政課が提案します。②次に、①をもとに各部局が新規・継続・廃止の事業を決めて必要な金額を計算します。③④要求された予算について、財政課が各部局の担当者へ聴取をし、財政状況、事業の必要性・効率性などの見地から審査を行います。その後、財務部長・副市長・市長の査定を受け、予算案を作成します。⑤⑥⑦市議会での議論を経て最終的に決定されます。

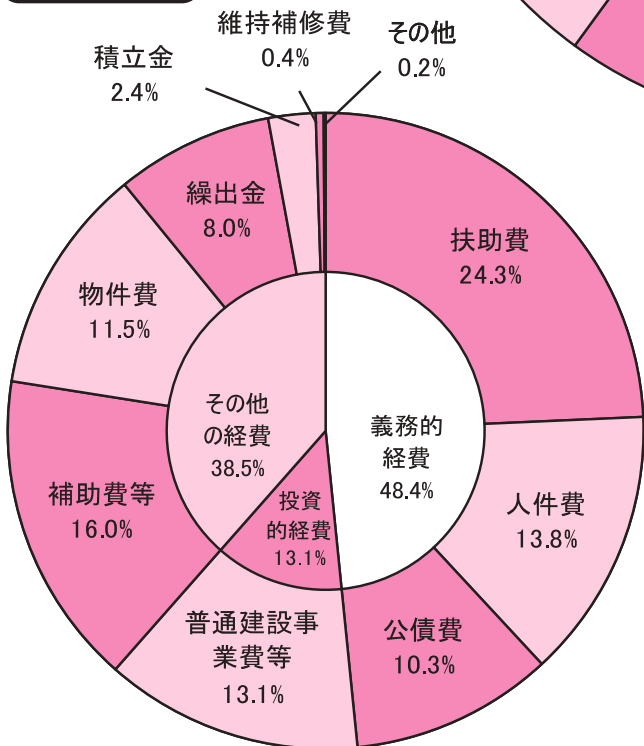
歳出

一般会計

目的別



性質別



- 民生費……………福祉サービスのために使われるお金
(高齢者・障害者の支援、保育施設などへの給付など)
- 総務費……………基礎的な行政活動や企画調整などのために使われるお金
(自治会活動の支援、移住定住、市有地・建物の管理、選挙経費など)
- 農林水産業費……農業・林業や水産業の振興のために使われるお金
(農道や用水路、漁港の整備、基盤整備、後継者の育成、稚魚放流への補助など)
- 商工費……………商業振興や観光などのために使われるお金
(中小企業者への資金貸付、企業誘致、観光イベント開催補助など)
- 公債費……………過去の建設事業などで借り入れた市債(借金)返済のために使われるお金
- 教育費……………学校教育や生涯学習・スポーツ振興などのために使われるお金
(小中学校、ホールおよびスポーツ施設の運営・管理、各種講座・講演会の開催、文化財の保護など)
- 土木費……………道路・水路や公園の整備などのために使われるお金
(道路の新設・改良、河川改修、市営住宅の管理など)
- 衛生費……………健康づくりや環境衛生などのために使われるお金
(健康診断、予防接種、ごみ処理など)
- 消防費……………消防・防災のために使われるお金
(消防署運営費の負担、消防団の活動費用、防火水槽の整備など)
- 議会費……………議会運営のために使われるお金

Q. 目的別歳出、性質別歳出とは？

A. 行政目的から見た歳出、経済的性質から見た歳出のことです。

【義務的経費】

職員や議員などの人件費、借金の返済、福祉、医療など、毎年支払う必要があるお金

【投資的経費】

学校、道路、庁舎などの整備や災害復旧にかかるお金

【その他の経費】

特定の事業を支援するための補助金など上記以外の市民サービスに必要なお金

知っておきたい！



市民1人あたりに使われるお金

令和4年3月31日現在、雲仙市の人口は、41,911人です。

一般会計予算について、市民1人あたりに、どれくらいのお金が使われるのか表してみました。

民生費

(福祉サービス)

25万1,610円



教育費

(学校教育、スポーツ振興など)

6万670円



公債費

(市債返済)

7万3,320円



農林水産業・商工費

(農業、林業、水産業など)

7万7,360円



市民1人あたり総額

71万4,420円

土木費

(道路、水路、公園整備など)

5万6,700円



衛生費

(健康づくり、環境衛生など)

5万5,950円



その他

(行政運営、消防、防災など)

13万8,810円



雲仙市の人口

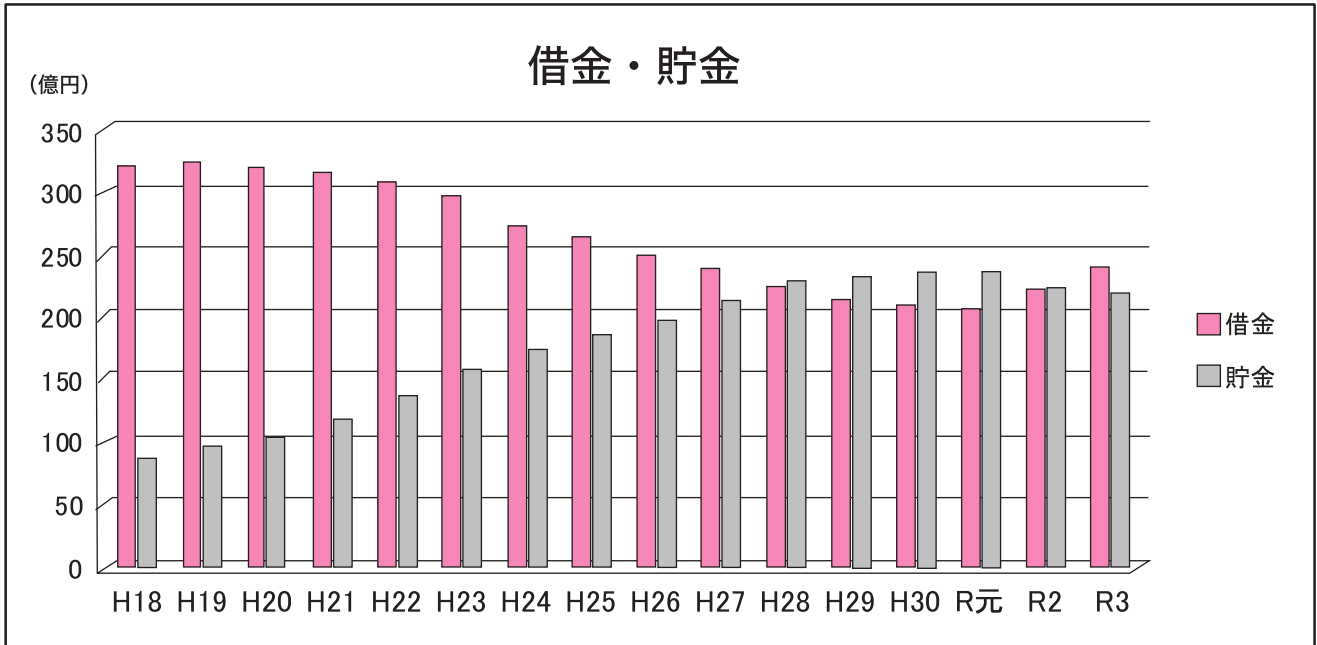
(令和4年3月31日現在)

男性 19,972 人

女性 21,939 人

合計 41,911 人

雲仙市の借金と貯金



※H18～R2は決算、R3は決算見込みの金額

市民1人あたりの借金

58万4,342円



市債（地方債）と言われるものですが、自治体が学校・道路・橋などを整備する資金を調達するために、国や銀行から借り入れるお金です。多額の出費がある場合や、将来の世代にも経費を負担させることが公平な場合などに借り入れることができます。

市民1人あたりの貯金

49万1,390円



積立金（基金）と言われるものですが、一般の家庭において、出産や進学などに備えて積み立てておく貯金と基本的には同じもので、特定の目的や将来の出費などに備えて蓄えています。

< 雲仙市の予算の特徴 >

本市では、健全な財政運営を目指して、借金の残高をできる限り増やさないようにしつつ、将来の出費などに備えるために計画的に運営にあたっています。

借金（市債）については、繰り上げ償還（返済期日より早く返すこと）などにより、残高の抑制に努めています。また、合併特例事業債などの市債は、返済額のうち一定額を国から交付してもらえる有利な市債です。市では、そういった市債の割合を多くして、実質的な負担が少なくなるように努めています。

一方、貯金（積立金）については、継続的に運用益（利子）を積み立てており、財政規模に対する貯金の割合は、県内他市と比較すると多い方に位置しております。しかし、令和元年度に初めて貯金額が減少し、今後も減少傾向が続くなど、厳しい財政状況が予想されます。



2 令和4年度主要事業

●雲仙市総合計画の5つの基本方針

本市では、「“つながり”で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち」を将来像として、その実現化のために次の5つの基本方針を設定し、それに沿って様々な事業に取り組んでいます。令和4年度に実施する主な事業について、各方針別にご紹介します。

- ①暮らしと安心…………… 安心して子どもを産み育てるまちづくりと健康で安全な暮らしづくり
- ②産業と交流…………… 雇用を生み出す産業づくりと人を呼び込む観光地域づくり
- ③社会基盤と環境…………… 社会基盤の整備と自然環境と調和したまちづくり
- ④人財と郷土…………… 将来を担う人財づくりと歴史と文化が輝く郷土づくり
- ⑤協働と戦略…………… 市民一人ひとりが主役の協働のまちづくりと効率的で戦略性をもった行財政運営



①暮らしと安心

子どもの遊び場整備事業【新規】

683万円

(担当：総務部 政策企画課)

子育て環境を充実させ、本市への移住・定住を促進するため、既存施設の活用を基本とした全天候型施設や他の施設との併用・連携を図った、子どもの遊び場の整備に向けて、基本構想を作成します。

●事業内容

○子どもの遊び場の整備に向けた基本構想を作成します。

①暮らしと安心

高齢者等見守りネットワーク構築事業

38万円

(担当：健康福祉部 福祉課)

見守りが必要と思われる高齢の人や障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域全体で見守り支え合う体制を整備します。

●事業内容

○一人歩きの心配のある人の情報を事前に市へ登録し、行方が分からなくなったとき等に関係者で検索します。

○一人歩きの心配のある人が電車を止めてしまった等の賠償金が発生する不測の事態に備えて、個人賠償責任保険に市が保険契約者として加入します。

○一人暮らしの高齢の人の安否確認ができる見守りシステムの機械を導入する場合に、導入費の一部を助成します。【拡充】



①暮らしと安心

定住促進対策事業

7,387万円

(担当：地域振興部 地域づくり推進課)

本市に住んでいる人やこれから住みたい人のための支援を行います。
これにより、人口減少対策や地域コミュニティの維持・活性化を図ります。

●事業内容

- 定住促進奨励補助金
満55歳以下の人が住宅を取得した場合に支援します。
(新築住宅)
固定資産税額の1/2相当額(上限10万円)
+子ども1人あたり1万円
(中古住宅)
10万円+子ども1人あたり1万円
- 若者Uターン家賃補助金
市外から転入した18歳~35歳の人が本市にある住宅を借りたとき、家賃の1/2
(最長2年間)を支援します。
上限額(月): 単身1万5千円、複数世帯2万5千円
- 定住促進奨学資金償還補助金
本市に住んでいる人が返済している奨学金の1/2(最長10年間)を支援します。
上限額(年): 高等学校3万6千円、専門学校等4万5千円、大学等6万円
- 地域産業雇用創出チャレンジ支援事業移住支援金
東京23区に在住または勤務する人が本市に移住して、就業や創業、関係人口等の要件を満たした場合に支援金を交付します。
単身: 60万円 複数世帯: 100万円+子ども1人あたり30万円
- 移住促進空き家リフォーム補助金
市外から転入する人が空き家バンクの物件を買ったり借りたりした場合、リフォーム費用の1/2(上限50万円)を支援します。
- 空き家等情報登録制度(空き家バンク制度)
空き家情報を市のホームページに登録し、空き家を貸したい(売りたい)人と空き家を借りたい(買いたい)人をマッチングします。
- 空き家バンク登録奨励金
空き家バンクに登録し、契約が成立した場合、空き家の所有者に対し5万円の奨励金を交付します。
- 空き家活用促進奨励補助金
空き家バンク制度を利用するときに、空き家の状態の調査費用(7千円)や家財道具の片付け費用(上限10万円)、仲介手数料(上限10万円)を支援します。
- 移住者向け住宅確保加速化支援事業補助金
長崎県外から本市に転入する人の住宅を確保するため、市が認定した空き家活用団体が行う改修費用等を支援します。



(担当：地域振興部 地域づくり推進課)

人口減少対策として、出会いから結婚、出産まで、切れ目ない支援を行い、定住人口の増加と、出生率の改善に向けて、婚姻数の増加を図ります。

●事業内容

<出会いに関する支援>

- お見合いシステム登録促進補助金
長崎県婚活サポートセンターが運営する会員制データマッチングシステム、「お見合いシステム」の登録料1万円を全額支援します。



- 婚活支援事業補助金、婚活支援広報事業
婚活イベントの開催経費を支援します(上限10万円)。また、タウン誌などでイベントの周知を行います。

<恋愛に関する支援>

- カップル応援事業
出会いから結婚までサポートする人を「雲仙市世話やき隊」として登録し、独身男女が結婚に至るまでサポートします。活動が結婚に結びついたら、世話やき隊に対して1組につき10万円を交付します。

<結婚に関する支援>

- 結婚・定住支援金(結婚支援金)【新規】
婚姻時の年齢が、ご夫婦ともに42歳未満またはご夫婦の両方もしくはいずれかが42歳以上のご夫婦で婚姻の翌年度末までにお子様の出生があった場合に40万円の支援金を交付します。
- 結婚新生活支援事業
結婚に伴う新居費用や引っ越し費用などを支援し、新婚生活スタート時の経済的な負担を軽減します。
上限額：29歳以下の人…60万円、30歳以上39歳以下の人…30万円

<出産に関する支援>

- 結婚・定住支援金(赤ちゃん支援金)【新規】
お子様の出生があった場合に20万円の支援金を交付します。



①暮らしと安心

民間教育・保育施設給付事業

23億8,949万円

(担当：健康福祉部 子ども支援課)

保育所や認定こども園に対し、施設を利用した子どもの費用を給付することによって、児童の心身の健全な発達を図ります。

●事業内容

<市内対象施設>

○保育所 19園
(国見4 瑞穂4 吾妻3 愛野2 小浜3 南串山町3)

○認定こども園 8園
(国見3 吾妻1 愛野2 千々石1 小浜1)

※本市では、第2子以降の保育料を免除(無料化)しています。



①暮らしと安心

生活困窮者就労準備支援等事業【新規】

58万円

(担当：健康福祉部 保護課)

家計改善支援員が、家計に問題を抱え、生活に困窮されている方々からの相談に応じ、相談者とともに家計状況を明らかにして、生活の再生に向けた支援を行います。

●事業内容

- 家計表作成による収支の把握と見直し
- 債務整理への支援
- 滞納税等の納付相談や公共料金等の相談
- 就労による増収計画
- 福祉サービス支援の検討

上記相談内容により、適したプランを作成して、支援を行います。



①暮らしと安心

妊婦乳幼児健診事業

3,483万円

(担当：健康福祉部 子ども支援課)

妊婦および乳児の健康状態の確認と乳幼児の疾病や障害を早期に発見し、適切な治療や養育支援を行い、母子保健の向上を図ります。

●事業内容

- 妊婦健診
出産までに14回の一般健診および精密健診の助成
- 乳児健診
生後3～11か月の間に2回の一般健診および精密健診の助成
- 1歳6か月児および3歳児健診における精密健診の助成
- 多胎妊婦の健診【拡充】
一般健診14回に加え、上限5回の健診を助成



①暮らしと安心

不育症検査費用助成事業【新規】

15万円

(担当：健康福祉部 子ども支援課)

流産や死産などを繰り返す不育症について、リスク因子を特定し、適切な治療および出産に繋げるため、検査費用の一部を助成し、経済的負担を軽減します。

●事業内容

県が実施する助成事業の対象者に、市も独自に助成金を支給します。

- 対象となる検査
国が助成対象として認める保険適用外の不育症検査
- 対象
市内に1年以上住所を有し、長崎県不育症検査費用助成事業の助成を受けている者
- 助成金
上限50,000円(県と合わせて100,000円)



①暮らしと安心

防災対策システム整備事業【新規】

1,291万円

(担当：総務部 危機管理課)

高波や河川の氾濫などの恐れがある箇所を監視する防災カメラの設置に向けた調査・設計を行い、聴覚障がいをお持ちの人にも避難情報等を適時に、正確に伝えられる文字表示式の防災行政無線戸別受信機を整備します。

●事業内容

- 防災カメラ整備工事実施設計業務
- 聴覚障がい者用文字表示戸別受信機の整備



①暮らしと安心

災害対策事務費

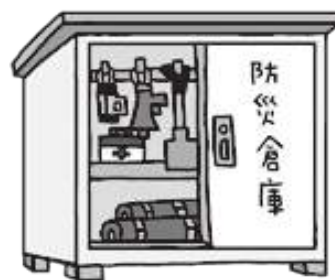
4,996万円

(担当：総務部 危機管理課)

台風や大雨等による自然災害から市民の生命と財産を守るため、防災行政無線の適正な管理を図り、自主防災組織の活動の活性化や非常食などの備蓄をさらに進め、地域防災体制の強化を図ります。

●事業内容

- 防災行政無線保守点検
- 備蓄食料等の購入
- 戸別受信機の設置工事および修繕
- 自主防災組織機能強化補助金【新規】
 - ・自主防災組織活動活性化補助金
 - ・防災資機材等購入費補助金
 - ・避難所開設運営費補助金
 - ・防災訓練費補助金
 - ・防災士資格取得費補助金



②産業と交流

光り輝く雲仙カアアップ事業

5,644万円

(担当：農林水産部 農林課)

国内外の他産地との競争に負けない足腰の強い農業を実現するため、市独自の支援策により、儲かる農業の実現と力強い産地づくりに取り組みます。

●事業内容

- スマート農業推進事業
- 担い手育成支援事業
- 経営コスト削減推進事業
- 農地利活用推進事業



②産業と交流

農村活性化支援員事業【新規】

310万円

(担当：農林水産部 農林課)

国の地域おこし協力隊制度を活用し、地域おこし協力隊による農村集落の活性化や条件不利農地の有効活用に繋がる活動を支援します。

●事業内容

- 農村の魅力の情報発信
- 集落営農組織等の支援
- 若い世代への「農育」の推進



②産業と交流

農業収入保険制度支援事業【新規】

841万円

(担当：農林水産部 農林課)

市内の農業者の安定した農業経営と収入保険制度への加入を促進するため、保険料を支援します。

●事業内容

〈補助要件〉

- ①市内に住所を有する農業者
- ②収入保険制度に加入している農業者

〈補助率〉

保険料（掛け捨て分）の30%以内
※補助金上限額 30万円



②産業と交流

雲仙観光局補助金【新規】

6,549万円

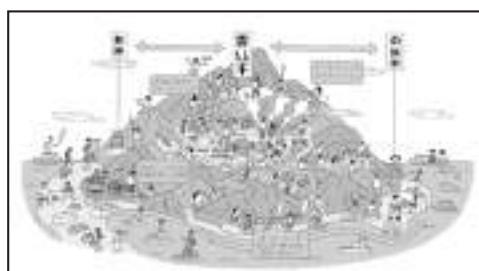
(担当：観光商工部 観光物産課)

市の観光施策を強力に推進し、観光産業の稼ぐ力を高めるとともに、市内の一次産業をはじめ、多くの地場産業の活性化を図るため、新たに設立された観光推進団体である「雲仙観光局」の活動を支援します。

●事業内容

〈雲仙観光局の主な事業〉

- 地域事業者の経営拡大に向けた支援事業
- 観光まちづくりのための調査分析および情報発信事業
- 地域ブランド・価値創造事業
- 強力な推進体制を確保するための内部体制強化事業



②産業と交流

スポーツツーリズム等推進事業【新規】

1,045万円

(担当：観光商工部 観光物産課)

新小浜体育館を中心とした市内の施設を活用し、合宿および大会等を誘致することにより、本市への来訪者を増加させるとともに、訪れた人へ地域の魅力を伝えることで、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図ります。

●事業内容

- 合宿および大会等の誘致に向けたセールスなど
- 新小浜体育館のオープン記念イベント等の開催
- 合宿・大会等の誘致のための補助金および負担金



②産業と交流

ワーケーション等推進事業

773万円

(担当：観光商工部 観光物産課)

新たな働き方として、今後増加が見込まれるワーケーション等を推進することにより、関係交流人口の増加や人材・協力者の呼び込みを通じた、観光まちづくりによる地域活性化を行います。

●事業内容

雲仙BASE（旧雲仙小中学校）を活用し、コワーキングスペース（共同で仕事をする場所）の実証実験を行うための雲仙BASEにかかる維持管理経費やワーケーション等の推進に向けた認証制度構築およびプロモーションを行います。

- 光熱水費、消防用設備等点検手数料等
- 認証制度やプロモーションを行うための委託費
- ワーケーション等での宿泊促進に向けた補助金



③社会基盤と環境

地域情報化推進事業

821万円

(担当：総務部 行革推進課)

日常生活において、市民の誰もが情報化社会の恩恵を受けられるように、デジタル化を推進します。

●事業内容

- 情報機器に不慣れな方を対象とした講習会の開催
- 日常生活や地域の課題などを迅速かつ柔軟に対応できるようなアプリケーションソフト（特定の機能や目的のために開発・使用されるコンピュータ・プログラム）の開発
- 地域活性化起業人制度を活用した都市部に所在する民間企業の社員の受け入れによる地域情報化の推進
- 長崎県データ連携基盤の活用、データ整備

③社会基盤と環境

オンデマンド型乗り合い送迎サービス事業

3,461万円

(担当：総務部 政策企画課)

オンデマンド型乗り合い送迎サービスの導入に向け、国見町から愛野町までの区間において、実証実験を行うとともに、令和4年7月からは運行エリアを市内全域に拡大した本格運行を開始します。

●事業内容

<令和4年6月まで>

エリア：国見町、瑞穂町、吾妻町、愛野町
実施主体：雲仙市新地域交通実証実験運営協議会
運行日：平日と土曜日（年末年始を除く）
運行時間：9時～17時



<令和4年7月から>

エリア：国見町、瑞穂町、吾妻町、愛野町、千々石町、小浜町、南串山町
実施主体：市および共同運行事業者
運行日：平日と土曜日（年末年始を除く）
運行時間：9時～17時
その他：高齢者福祉タクシー助成券等を利用可
1回の乗車につき1枚100円（運賃半額）

③社会基盤と環境

公共交通対策事業

1億2,325万円

(担当：地域振興部 地域づくり推進課)

市内の鉄道・バス等の公共交通機関の利用促進と安全性の確保を図るとともに、利便性・効率性の向上を促進するよう各種支援を行い、通勤・通学、通院など市民の日常的な移動手段を確保します。

●事業内容

- 雲仙市乗合タクシー運行補助
- 鉄道軌道安全輸送設備等整備費補助
- 地方バス路線維持対策補助
- 西郷駅および阿母崎駅駐輪場改築事業
- 地域公共交通計画策定事業【新規】
- バス停留所上屋補修費等補助【新規】
など



③社会基盤と環境

千々石 千々石漁港海岸高潮対策事業

4,800万円

(担当：農林水産部 農漁村整備課)

本地区は、護岸の天端高が不足していることから、近年の台風の大型化により越波被害が発生する可能性があるため、高潮対策工事を実施し背後地の住民の不安解消とともに、生命・財産の安全を確保します。

●事業内容

- 事業期間
令和4年度～令和13年度
- 全体計画
離岸堤 長さ1,200m
- 令和4年度実施予定
測量・設計業務



③社会基盤と環境

守山浄水場改良工事

(担当：環境水道部 水道課)

- 事業内容 水道水の使用量増加に伴う対応および水道施設の耐震化を図るため、取水設備、水道管布設および管理棟建築等の工事を行います。



(出典：国土地理院 地理院地図)

守山浄水場



③社会基盤と環境

道路メンテナンス事業（橋梁長寿命化事業）

（担当：建設部 道路河川課）

- 事業内容 橋梁長寿命化対策工事（国見新田橋）



（出典：国土地理院 地理院地図）



③社会基盤と環境

市道 国見陣線改良事業【新規】

(担当：建設部 道路河川課)

- 事業内容 測量を委託して、工事に必要な図面などを作成



(出典：国土地理院/地理院地図)



終点側



起点側

③社会基盤と環境

市道 瑞穂役場古江線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 66m



(出典：国土地理院/地理院地図)



③社会基盤と環境

市道 吾妻菟塚・日暮坂線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 138m



(出典：国土地理院 地理院地図)



起点側



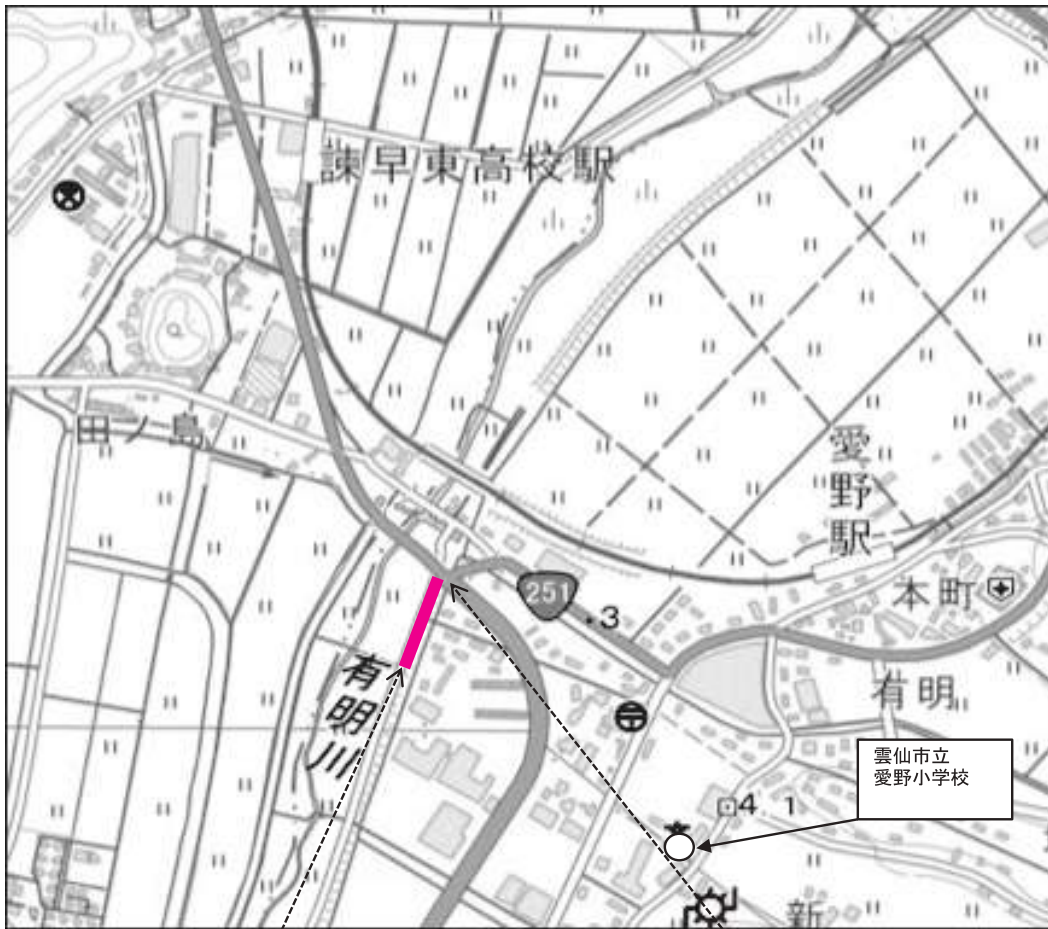
終点側

③社会基盤と環境

市道 愛野上大江線改良事業【新規】

(担当：建設部 道路河川課)

- 事業内容 測量を委託して、工事に必要な図面などを作成



(出典：国土地理院 地理院地図)



終点側



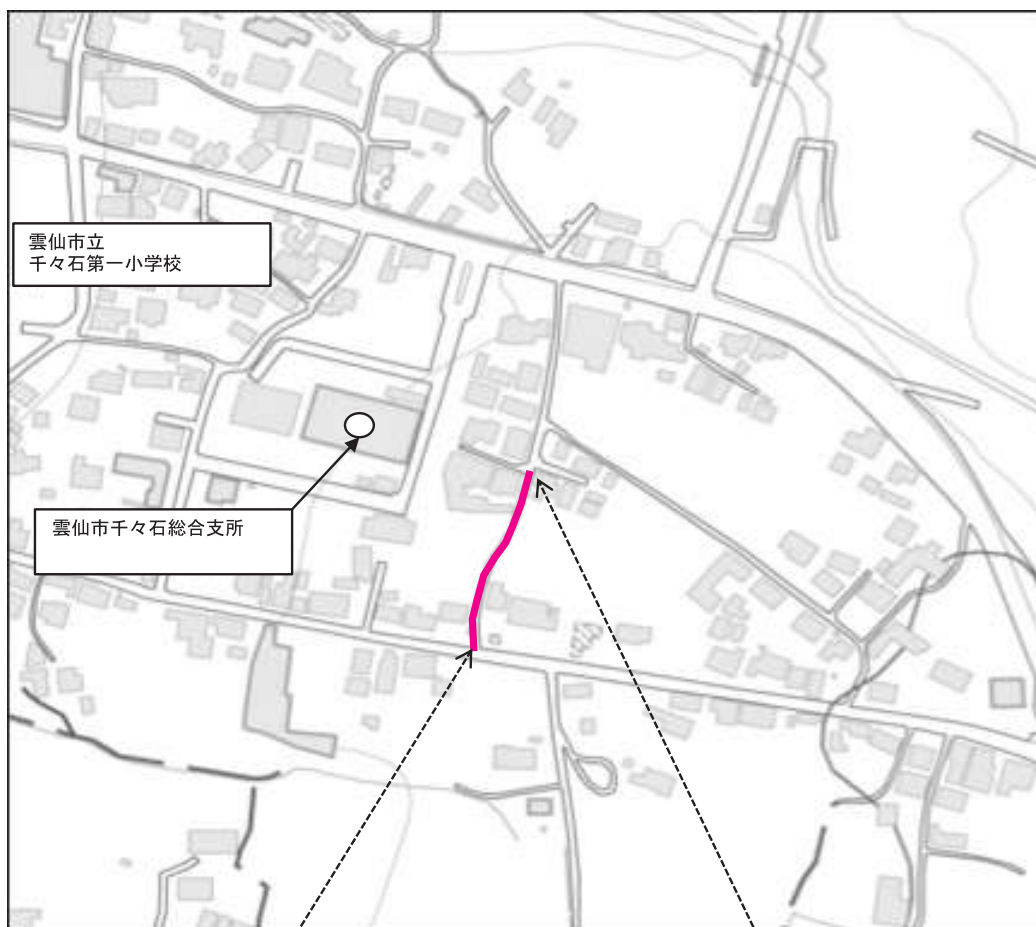
起点側

③社会基盤と環境

市道 千々石下狩場線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 83m



(出典：国土地理院/地理院地図)

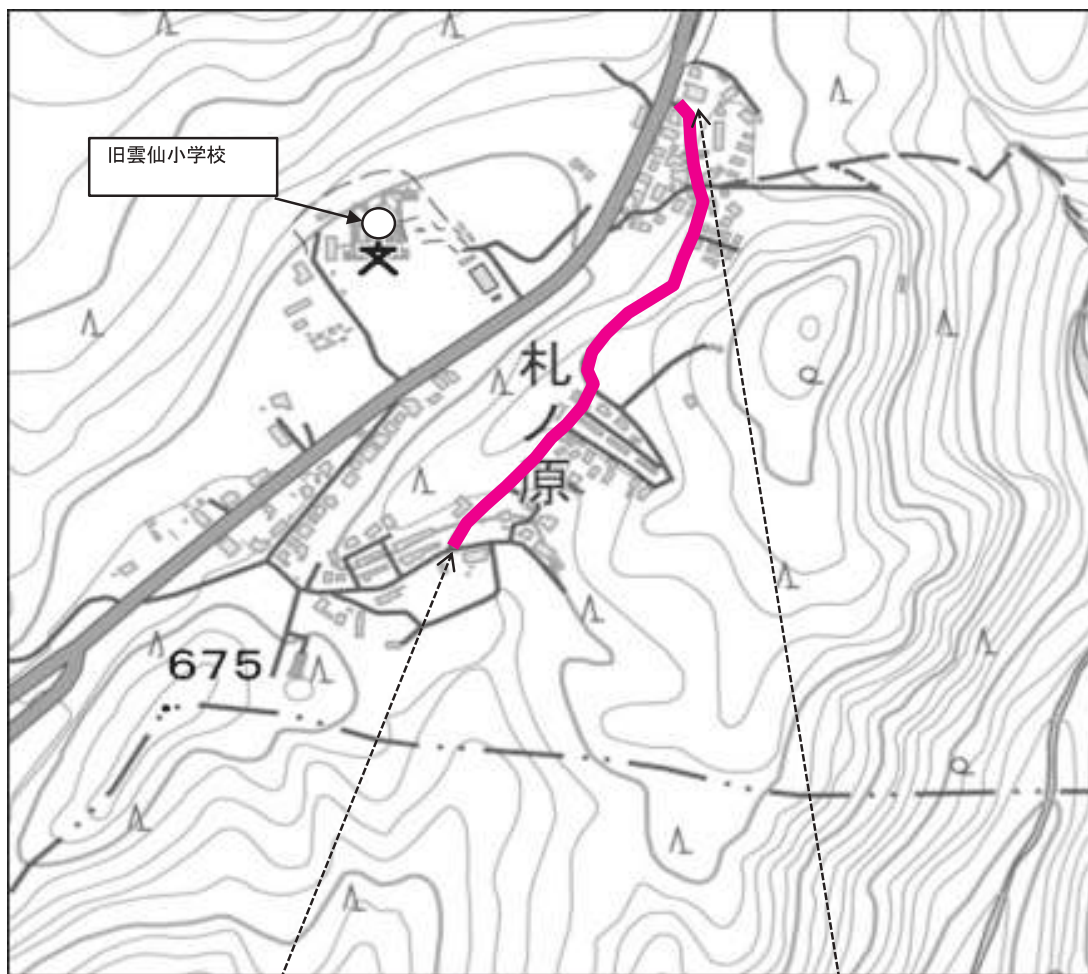


③社会基盤と環境

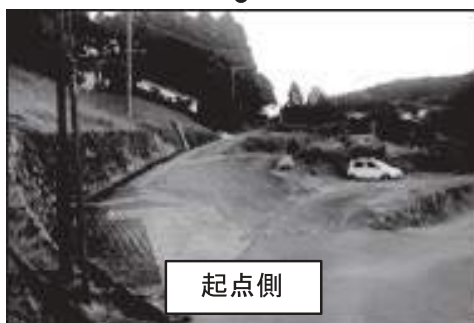
市道 小浜札ノ原3号線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

- 事業内容 測量を委託して、工事に必要な図面などを作成



(出典：国土地理院/地理院地図)



③社会基盤と環境

市道 南串山加例川線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 60m



(出典：国土地理院 地理院地図)



終点側



起点側

④人財と郷土

小・中学校教育環境整備事業

2,634万円

(担当：教育委員会 総務課)

学校において、児童生徒がタブレット端末を用いた授業を効果的に行えるよう、学習支援ソフト等の更新を図るとともに、老朽化した電子黒板の更新を行います。

●事業内容

児童生徒に貸与するタブレット端末で使用する学習支援ソフトや教室で使用する電子黒板の更新、ネットワーク機器の保守等を行います。

<更新するソフト等>

- 学習ドリルや問題集ソフト
- 有害サイトを制限するソフト

<情報システム関連業務>

- 老朽化した電子黒板の更新
- ネットワーク機器等保守



④人財と郷土

公民館施設整備事業

1億8,921万円

(担当：教育委員会 生涯学習課)

学びや文化に関する各種事業の実施による、地域住民の生活文化の振興や社会福祉の増進を目的とした公民館施設の適正な維持管理を図るため、改修工事等を行います。

●事業内容

- 雲仙市瑞穂町公民館解体工事、屋外トイレ改修工事

ほか



④人財と郷土

小・中学校施設整備事業

4億1,057万円

(担当：教育委員会 総務課)

小・中学校における教育環境の向上および安心安全な施設の整備に向け、外壁や建具等の改修を図ります。

また、児童数増に伴う教室不足解消のため、愛野小学校校舎増築工事を行います。

●事業内容

<小・中学校施設大規模改修事業>

- 多比良小学校校舎屋上防水改修工事实施設計業務
- 南串第一小学校校舎屋上防水改修工事实施設計業務
- 瑞穂中学校校舎屋上防水等改修工事实施設計業務

<小・中学校施設単独整備事業>

- 多比良小学校防球ネット改修工事（2期工事）ほか
- 児童生徒の危険回避や教育環境改善のため施設等の修繕

<小・中学校施設環境改善交付金事業>

- 西郷小学校校舎外壁・建具改修工事
- 小浜小学校屋内運動場外壁改修工事实施設計業務
- 吾妻中学校屋内運動場建具改修工事

<小学校公立学校施設整備事業>

- 愛野小学校校舎増築工事（令和3年度～令和4年度）



④人財と郷土

社会教育施設整備事業

1億1,781万円

(担当：教育委員会 生涯学習課)

文化と教養の拠点として活用されている社会教育施設の改修を行い、利用者の利便性と安全性の向上を図ります。

●事業内容

- ハマユリックスホール舞台照明設備改修工事

- 国見町文化会館土地購入

ほか



④人財と郷土

社会体育施設整備事業

5,894万円

(担当：教育委員会 スポーツ振興課)

各種スポーツやレクリエーションの拠点として活用されている社会体育施設の改修等を行い、利用者の利便性と安全性の向上を図ります。

●事業内容

- 愛野運動公園グラウンド照明改修工事
 - みずほすこやかランドテニスコート改修工事
- ほか



④人財と郷土

小浜体育館整備事業

1億2,843万円

(担当：教育委員会 スポーツ振興課)

多世代が交流する賑わいのまちづくりの拠点施設としての新しい小浜体育館の完成に伴い、不足する駐車場を整備するため、旧小浜体育館の解体工事を実施します。

●事業内容

<事業期間>

令和4年度～令和6年度

<解体する体育館の概要>

主要構造：鉄筋コンクリートおよび鉄骨造
階数：地上3階
延床面積：1,875㎡

※上記施設を解体後、駐車場として整備します。



⑤協働と戦略

シティプロモーション推進事業【新規】

227万円

(担当：総務部 広報推進課)

最新の市政情報や市内の名所、名産品、偉人などを効果的に発信するため、雲仙市役所などへ電子看板（デジタルサイネージ）を設置します。動画などの映像を通じて、本市が持つ魅力を市民に深く知ってもらおうと同時に、市が行う各種施策も広く周知し、市民の行政参画を促します。

●事業内容

- 電子看板（デジタルサイネージ）設置 7台



⑤協働と戦略

社会保障・税番号制度システム整備事業

2,153万円

(担当：総務部 行革推進課)

社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）に的確に対応するため、国が示す仕様にシステムを改修します。

また、マイナンバーカードを活用したオンライン申請を導入し、市民の利便性向上と行政事務の効率化を図ります。

●事業内容

- 各自治体や政府等を結ぶ行政専用ネットワークを経由したシステムの改修を行い、社会保障・税番号制度に係る情報をオンライン上で安心・安全に管理・運用します。
- 市民の利便性向上のため、行政手続のオンライン化を実施します。



3 ゼロ予算事業

ゼロ予算事業とは、職員の創意工夫によって、既存の人材や施設等をうまく活用し、特段の予算を必要としない事業のことです。

令和4年度は、16事業を予定しています。

①相談窓口（1事業）

②出前講座など（7事業）

③維持管理（3事業）

④その他（5事業）



相談窓口 **遺言・契約等法律相談所開設事業**

(担当：地域振興部 地域づくり推進課)

公証人が、奇数月の第2火曜日に相談所を開設し、遺言、相続、離婚、養育費などの相談に応じます。

出前講座 **雲仙市の台所事情出前講座**

(担当：財務部 財政課)

自治会などからの要請に応じて、財政運営・財政状況の出前講座を行います。

出前講座 **自主防災組織出前講座**

(担当：総務部 危機管理課)

自治会などからの要請に応じて、自主防災組織の活動支援や防災に関するこの出前講座を行います。

出前講座 **租税教室事業**

(担当：財務部 税務課)

市内小中高校を訪問し、税の仕組みや役割などを、ビデオ・クイズなどを交えてわかりやすく説明します。

出前講座 **福祉介護出前講座**

(担当：健康福祉部 福祉課)

自治会・団体などを対象とした、福祉サービスや介護予防などに関する出前講座を行います。

出前講座 **環境学習出前講座**

(担当：環境水道部 環境政策課)

自治会・学校などの要請に応じて、正しいごみの分別やリサイクルの推進など、ごみに関する出前講座を行います。

出前講座 **農業出前講座**

(担当：農林水産部 農林課)

10人以上で構成された自治会・団体等への農業講座メニューの中から、希望する出前講座を行います。

出前講座 **未来の担い手事業**

(担当：農林水産部 農林課・農漁村整備課)

市内小中学校を訪問して、雲仙市の主幹産業である農林水産業に関する講座、食育活動を行います。

維持管理 **雲仙グリーンロード点検事業**

(担当：農林水産部 農漁村整備課)

雲仙グリーンロードの点検、舗装の簡易補修を行います。

維持管理 **市道吾妻平木場線道路公園除草事業**

(担当：建設部 監理課・道路河川課)

市道吾妻平木場線道路公園（干拓堤防道路との交点部）の除草作業などを行います。

知っておきたい 雲仙市のしごと

維持管理 環境美化事業

(担当：各総合支所)

庁舎周辺の除草作業や空き缶、ごみなどの清掃作業を行います。

その他 グループ交流促進事業

(担当：地域振興部 地域づくり推進課)

「人も企業もつながる」をコンセプトに、県内企業・団体に所属する独身の方々のグループ交流を促進します。

その他 時間外窓口交付事業

(担当：地域振興部 総合窓口課・財務部 税務課)

予約された人に対して、住民票、税証明書などの時間外の交付を行います。

その他 古着や本の無料配布

(担当：環境水道部 環境政策課)

ストックハウス等で回収した状態の良い古着や本を、「雲仙市産業まつり」会場で無料配布します。

その他 企業メール配信事業

(担当：観光商工部 商工労政課)

商工業などに関する情報を月2回程度、登録業者へ電子メールによる情報配信を行います。

その他 市内小中高校への選挙器材貸出事業

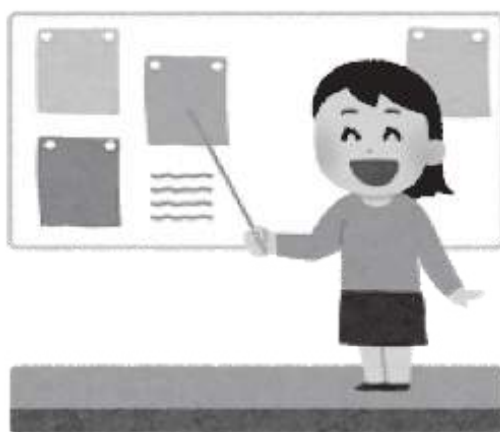
(担当：選挙管理委員会)

市内小中高校の生徒会選挙時などに、実際の選挙で使用する器材を貸し出し、投票への意識向上を図ります。



4 資料編

- (1) 雲仙市の通知表（県内 13 市財政状況比較表）
- (2) 雲仙市中期財政計画（第4期）
- (3) 「ふるさと納税寄附金」の使い道



(1) 雲仙市の通知表 (県内13市財政状況比較表(令和2年度決算ベース))

	歳出額		標準財政規模		財政力指数	
	市名	百万円	市名	百万円	市名	指数
1	長崎市	275,410	長崎市	100,201	大村市	0.64
2	佐世保市	151,358	佐世保市	60,375	長崎市	0.59
3	諫早市	87,318	諫早市	34,487	諫早市	0.55
4	大村市	59,393	大村市	20,554	佐世保市	0.54
5	南島原市	38,828	対馬市	17,231	松浦市	0.50
6	対馬市	35,719	南島原市	17,195	島原市	0.45
7	雲仙市	35,161	雲仙市	16,247	西海市	0.29
8	五島市	34,993	五島市	16,185	雲仙市	0.28
9	平戸市	31,297	平戸市	13,102	南島原市	0.25
10	島原市	28,451	杵岐市	12,499	平戸市	0.24
11	西海市	27,450	西海市	12,425	五島市	0.24
12	杵岐市	26,359	島原市	11,336	杵岐市	0.22
13	松浦市	23,939	松浦市	9,422	対馬市	0.19



	経常収支比率		実質公債費比率		将来負担比率		地方債現在高 (対標準財率が低い順)			積立金現在高 (対標準財率が高い順)		
	市名	%	市名	%	市名	%	市名	百万円	対標準財	市名	百万円	対標準財
1	西海市	83.6	南島原市	-4.1	雲仙市	-	南島原市	23,173	134.8	雲仙市	22,573	138.9
2	雲仙市	83.9	西海市	-2.8	佐世保市	-	雲仙市	22,539	138.7	西海市	15,749	126.8
3	対馬市	86.6	平戸市	3.0	西海市	-	諫早市	53,228	154.3	南島原市	16,940	98.5
4	南島原市	87.2	島原市	3.1	諫早市	-	西海市	20,616	165.9	平戸市	12,336	94.2
5	平戸市	88.3	雲仙市	3.5	平戸市	-	佐世保市	108,167	179.2	対馬市	16,034	93.1
6	杵岐市	90.6	佐世保市	4.3	南島原市	-	平戸市	26,852	204.9	五島市	13,827	85.4
7	松浦市	91.0	対馬市	6.0	島原市	-	大村市	42,471	206.6	諫早市	22,354	64.8
8	五島市	91.6	五島市	6.7	対馬市	10.5	島原市	23,805	210.0	杵岐市	8,052	64.4
9	佐世保市	92.4	杵岐市	6.7	五島市	12.8	松浦市	20,129	213.6	大村市	13,091	63.7
10	諫早市	92.5	諫早市	6.8	杵岐市	32.8	杵岐市	27,229	217.9	松浦市	5,968	63.3
11	島原市	92.6	長崎市	8.2	大村市	36.0	五島市	38,490	237.8	島原市	6,179	54.5
12	長崎市	97.4	大村市	9.2	松浦市	76.2	対馬市	43,761	254.0	長崎市	44,101	44.0
13	大村市	99.4	松浦市	11.5	長崎市	91.0	長崎市	265,239	264.7	佐世保市	21,478	35.6

※対標準財とは、標準財政規模に対する比率のことです。

●標準財政規模とは

地方公共団体が通常の状態では毎年経常的に収入が見込まれる一般財源(自由に使えるお金)の総額のことです。

●財政力指数とは

財政力の強弱を示すものであり、一般財源必要額に対して市税等の一般財源収入額がどの程度確保されているかを測るもので、指数が高いほど裕福な団体であり、1以上の地方公共団体は、普通交付税の不交付団体となります。

●経常収支比率とは

人件費・扶助費・公債費などのように毎年度経常的に支出する経費に、地方税・地方交付税などの経常的な一般財源収入がどの程度充てられているかを示す比率で、この指数が小さいほど、財政的に弾力性があるといえます。

●実質公債費比率とは

借入金(市債)の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示す比率で、この比率が高まるほど、財政の弾力性が低下します。

●将来負担比率とは

地方公共団体の一般会計の借入金(市債)や将来支払っていく可能性のある負担などの、現時点における残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率です。

●地方債現在高とは

地方公共団体が借り入れてきた地方債の累積額を表しており、これにより、今どれくらい未返済の借金が残っているかがわかります。

●積立金現在高とは

地方公共団体が将来必要となる財源に充てるため積み立てた資金(基金)の累積額であり、いわゆる貯蓄(貯金)と同じ意味合いで、今どれくらい蓄えがあるかがわかります。

(2) 雲仙市中期財政計画（第4期）について ～長期財政見通し～

1. 計画の策定にあたって

平成17年10月に合併した雲仙市は、合併の特例措置として普通交付税を合併後15年間（平成18年度から令和2年度まで）、本来の額より多く交付を受けていましたが、令和3年度から本来の額の交付税となっており、地方交付税への依存度が高い本市は、令和元年度から歳入減（収支不足）を財政調整基金等（貯金）からの取り崩しにて補う財政運営が続いています。

このことを踏まえ、将来にわたって持続可能で適正な財政運営を図ることを目的に財政収支を推測し、長期的には財政規模の縮減（財源不足の解消）を指針として策定しました。

2. 計画の考え方

今後の歳入を見積もり、次の点を考慮して将来の適正な財政規模を推測しました。

また、歳出では義務的経費（毎年度経常的に支出する経費）を見込んだ後に、任意的経費（個人・団体への補助や建設事業などの投資的経費）にて使用可能な額を算定しています。

- ① 歳入減に合わせた歳出の急激な縮減は、市民生活等に及ぼす影響が過大となるため、計画的な縮減を可能な限り緩やかに進め、長期的には類似団体と同程度の財政規模まで縮減する。
- ② 公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の削減のほか、ふるさと納税制度による寄附額の増や市有財産の売却など、自主財源の確保を進める。
- ③ 合併特例債の活用は、令和7年度までとなっていることから、発行可能額まで有効に活用するよう進める。

3. 計画の期間・見通しについて

計画期間：令和4年度 ～ 令和8年度（5年間）

※長期見通しは、令和13年度まで

長期見通し(グラフ)：43ページのとおり

4. 計画の推進について

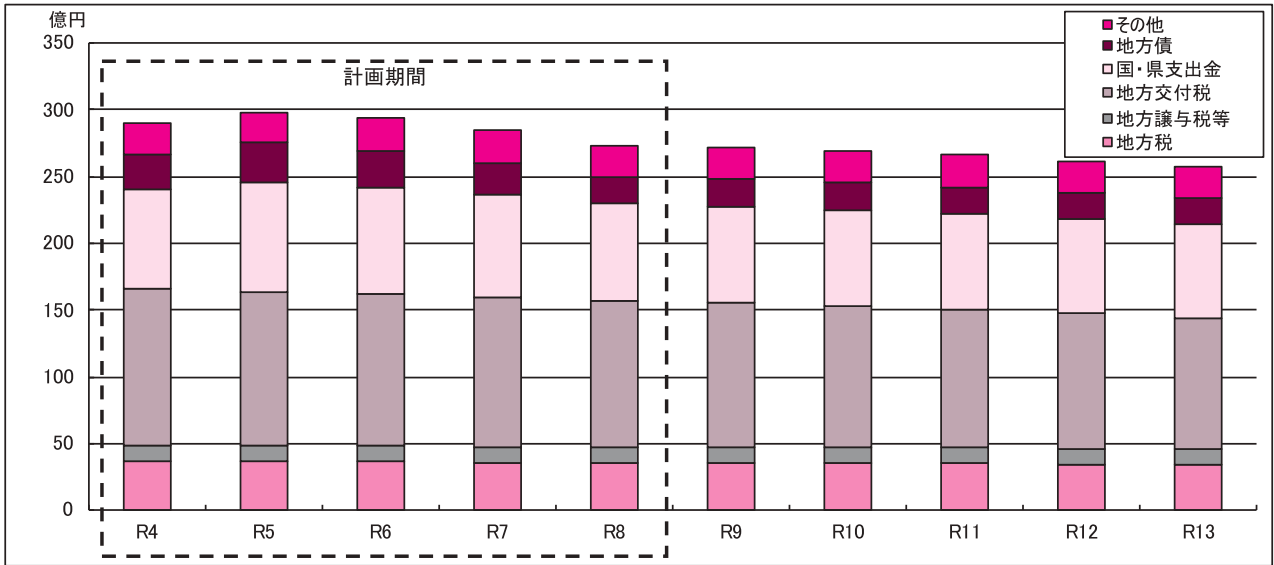
本計画は、計画策定時点で把握できた令和4年度以降の地方財政制度等に基づき策定したものであり、今後の地方交付税やその他の歳入見込みについては、将来の経済情勢や地方財政制度の見直しにより、大きく左右されることとなります。

また今後、国の施策に伴う歳入・歳出の更なる改革が実施された場合、市の施策においても、市民サービスの維持・確保等のため、現時点では想定していない歳出、あるいは基金の更なる取り崩し等を余儀なくされることも考えられます。

このような中、今後の財政運営にあたっては、常に長期的な財政運営を視野に入れ、これまで以上に行政コスト縮減や自主財源の確保に努める必要があります。そのためには、国県等の動向や施策を注視しながら、有効な施策や制度に積極的に取り組み、市経済の活性化や市民生活の向上に向け、より効果的・効率的に、事業の重点化を進めなければなりません。

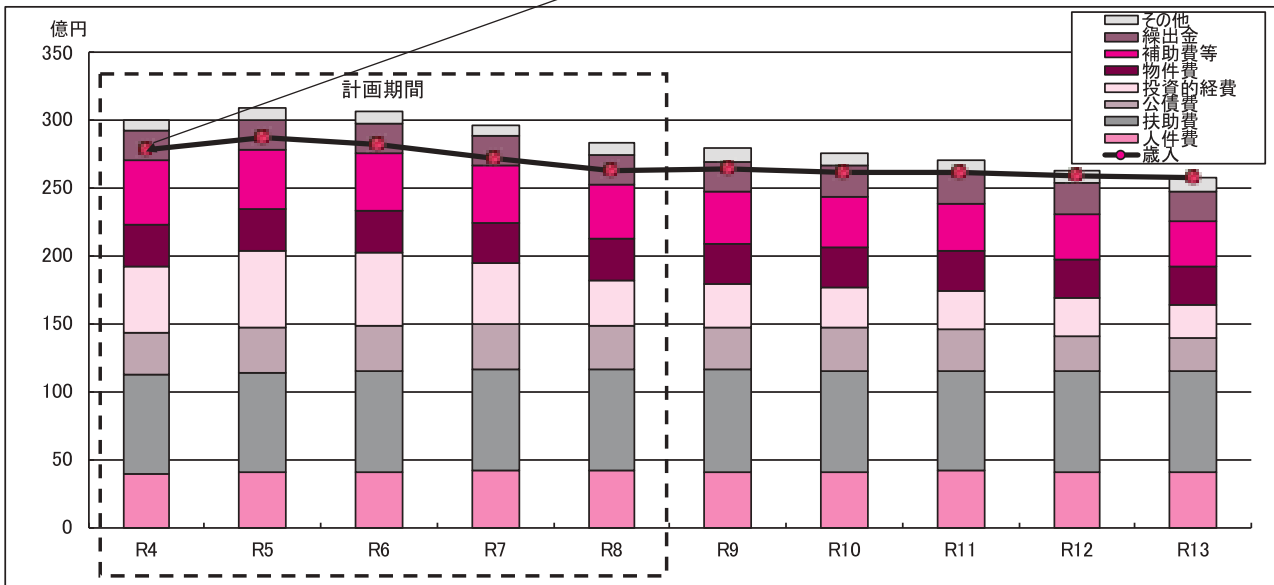
現在の本市の財政規模は、標準的な規模から大きく膨らんだものと言わざるを得ません。可能な限り早期に、本市の財政規模が本来の適正な規模となり、財源不足解消による安定した行財政運営が継続できるよう、本計画を進めていきます。

雲仙市長期財政見通し 歳入

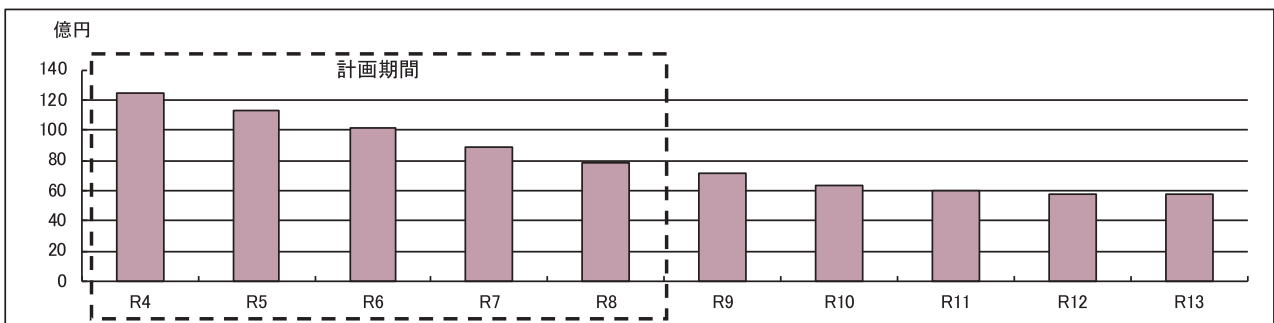


歳出

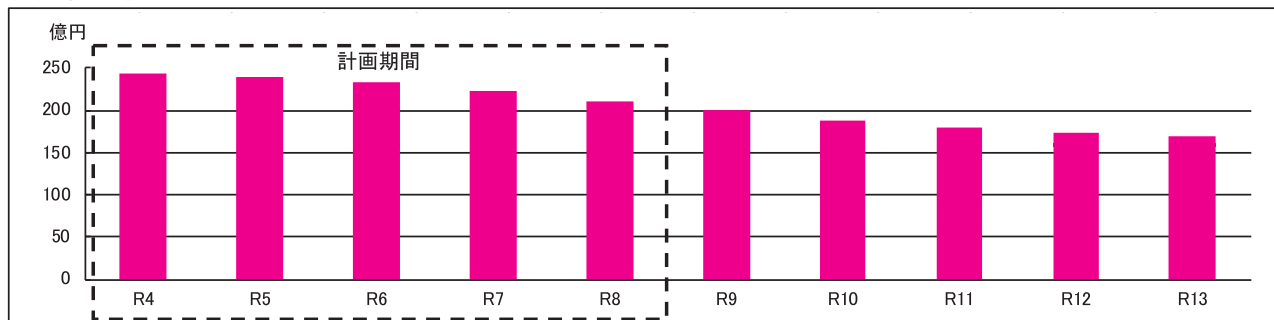
歳出が歳入を上回る場合は、財政調整基金等から補てんする。



財政調整基金等の残高



地方債残高



(3) 令和4年度当初予算における「ふるさと納税寄附金」の使い道

「ふるさと納税」とは、生まれ育ったふるさとや好きな自治体を、寄附を通じて応援できる制度です。寄附をすることで、所得税・住民税の控除を受けられるほか、自治体のまちづくりを支援することができます。

本市では、ふるさと納税による寄附金の使い道について、雲仙市総合計画の基本方針に基づき下記のメニューを設定し、寄附の際にその用途を選んでいただくことで、寄附者の皆さまの意向に沿ったまちづくりを行っています。

令和3年1月～12月にかけて、全国各地から6億1,090万1千円（45,736件）もの寄附をいただきました。この寄附金は、「雲仙市ふるさと応援基金」に積み立て、令和4年度において、下記の事業の財源として活用させていただきます（最終的な活用実績は、年度終了後に市のホームページにて公開します）。

【令和4年度雲仙市当初予算 ふるさと納税寄附金活用予定事業】

	基本方針	寄付額	活用予定事業
①	暮らしと安心 安心して子どもを産み育てるまちづくりと健康で安全な暮らしづくり	2億9,887万2千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防接種事業（子ども）（担当課：子ども支援課） ・ 妊婦乳幼児健診事業 // ・ 保育園等副食費助成事業 // ・ 福祉医療費支給事業 // ・ 民間保育所障害児保育事業 // ・ 民間教育・保育施設給付事業 // ・ 健康診査事業（担当課：健康づくり課）
②	産業と交流 雇用を生み出す産業づくりと人を呼び込む観光地域づくり	6,857万9千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定農業者活動支援事業（担当課：農林課） ・ 農地保全事業（担当課：農漁村整備課） ・ 雲仙観光局補助金（担当課：観光物産課）
③	社会基盤と環境 社会基盤の整備と自然環境と調和したまちづくり	4,604万5千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路橋りょう維持管理費（担当課：道路河川課） ・ 不法投棄対策事業（担当課：環境政策課）
④	人財と郷土 将来を担う人財づくりと歴史と文化が輝く郷土づくり	3,153万1千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクールサポーター配置事業（小学校）（担当課：学校教育課） ・ スクールサポーター配置事業（中学校） // ・ 読書活動振興事業（担当課：生涯学習課）
⑤	協働と戦略 市民一人ひとりが主役の協働のまちづくりと効率的で戦略性をもった行財政運営	720万1千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治集会所等整備費補助金（担当課：地域づくり推進課）
⑥	その他（※）	1億5,867万3千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結婚応援事業（担当課：地域づくり推進課） ・ 災害対策事務費（担当課：危機管理課） ・ 雲仙観光局補助金（担当課：観光物産課） ・ 予防接種事業（高齢者）（担当課：健康づくり課） ・ 読書活動振興事業（担当課：生涯学習課）

（※）⑥「その他」に寄附をいただいた分については、①～⑤の事業の中から市長がどの事業に活用するかを決定しています。（8月豪雨災害支援寄附を含む。）

令和3年寄附額 合計	6億1,090万1千円	寄附件数：45,736件
------------	-------------	--------------

【参考】

令和2年 寄附額	令和元年 寄附額
2億5,113万2千円	2億6,763万9千円

寄附をいただいた皆さまの雲仙市への温かいご支援に、心からお礼申し上げます。



令和4年度 雲仙市予算説明書

知っておきたい 雲仙市のしごと



長崎県雲仙市
財務部財政課

〒859-1107 長崎県雲仙市吾妻町牛口名 714 番地
TEL 0957-38-3111(代表) FAX0957-38-3514
HP <https://www.city.unzen.nagasaki.jp/>